

昭和63年(1988年)2月8日 (月曜日)

河 北 新 報

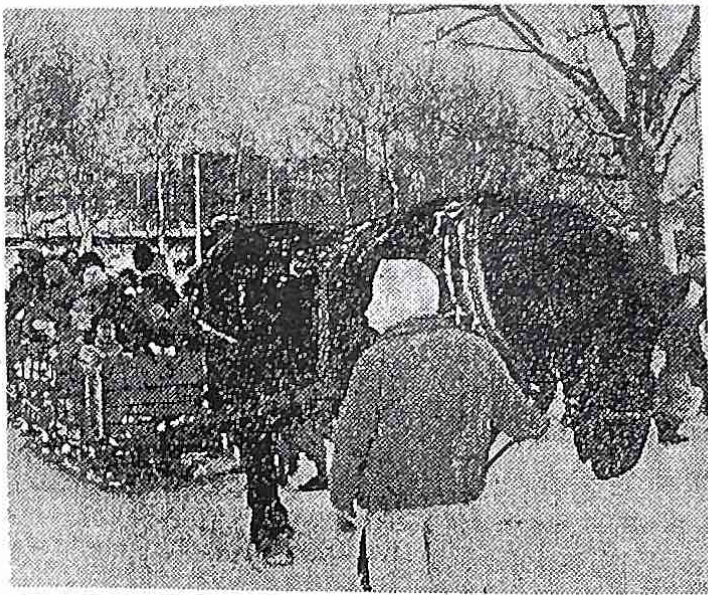
ホーバークラフトに人気

秋田で「童っ子雪まつり」

冬の伝統行事楽しむ

吹雪の中 大はしゃぎ

秋田の冬の風物詩「童(わら)っ子」の雪まつり。秋田伝承遊び研究会など主催の七日、秋田市の八橋運動公園で開かれた。今年で十三回目を迎えた雪まつりは、すっかり市民に親しまれ、この日は吹雪模様のあいにくの天候にもかかわらず



ず数万人の家族連れでにぎわった。雪まつりは、雪国秋田にまつわる伝統的なまつりや行事を子供の冬の遊びに調和させ、子供たちに夢と豊かな心をほくませようと始められた。横手のかまくらや湯沢の大っこまつり、男鹿のなまは

げの裏演など各地の伝統行事を存分に楽しめるようになっている。今年も新たに、西仙北町のミニ独立国秋田カエル村によるホーバークラフト試乗会、馬そりコーナーはいつでも人気の的

羽後町のうぐ牛まつり、比内町のミニ独立国とりとん共和国による比内とりの市がプログラムに加わった。特にホーバークラフト試乗会は、物珍しさもあって子供たちの人気を得、順番待ちの長い列ができた。会場内ではこのほか、馬そり、大館曲げわっぱ太鼓の裏演などさまざまな催しが開かれた。大人たちが甘酒コーナーで体を温める中、子供たちは寒さもそっこのけで、カーリング大会に挑戦したり、貸しそりで斜面を滑ったり、と楽しい時を過ごした。